

# 開会の挨拶

滋賀県土木交通部長 田村秀夫



皆さん、こんにちは。土木交通部長の田村でございます。シンポジウムの開催にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日、流域治水シンポジウムを開催させていただきましたところ、休日にもかかわらず、このように多くの皆さんにお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。また、皆さまには日ごろから県の政策、特に土木交通部のさまざまな施策について、ご理解、ご支援をいただいていることに対して、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年は8年ぶりに、日本に上陸した台風が0という年でございましたが、7月から9月にかけては記録的な猛暑とゲリラ豪雨が頻発していました。本県におきましても、今年の7月に長浜において1時間84mmという猛烈な雨が降りまして、床上浸水11戸を含む200戸以上の住宅が浸水被害に遭っております。このように、全国を見まわしますと、毎年のように異常豪雨が発生をしております。全国各地で多くの水害や、土砂災害が起こっていることは、ニュース等で皆さんよくご存じのことだろうと思います。

ただ、滋賀県においては局所的な浸水被害は生じておりますけれども、幸いといえますか、ここ40年ぐらいは広域にわたるような、大規模な水害は発生していないというのが現状であります。これはたまたま滋賀県に大きな雨が降らなかったということによるものと思いますが、こういった状況が長く続いている中で、県民の皆さまの中に、滋賀県はもう水害には遭わないのだ、無関係だというような意識が広がっているということ、私どもとしては大変危惧をしているところであります。

本県における河川の整備は、まだまだ安全度が低い状況であります。このため、今年の10月に、県内各河川の治水安全度のバランスに配慮した河川

整備を効率的、効果的に進めていくため、さまざまな指標を用いて、優先的に整備を取り組んでいく河川を決定いたしました。今後はこの検討結果もふまえ、地域ごとに具体的な整備内容を定める河川整備計画を策定し、これを着実に進めてまいる予定です。しかし、先ほど申し上げましたように、異常豪雨が大変頻発しているということで、計画を超えるような豪雨はあり得る。現況施設を超えるような豪雨は必ず来ると言っても過言ではありません。このため、川の中だけで対応できない限界というものもあるわけでございます。

こうしたことから、県としてはこれまでの対策に加えて、河川の特성에応じた、ためる、とどめる、そなえるという対策の組み合わせ、地域防災力の再構築などを含めたハードとソフトの対策を一体として、流域全体で行う「流域治水対策」を進めていこうと考えているところであります。

当然この対策は、県だけではなくて、住民の方、地域、そして市町と連携して進めていく必要があります。こうしたことから、国や市町と共同して検討を行う流域治水検討委員会の行政部会と、それから住民主体で検討を行う住民会議をそれぞれ設置し、それぞれからいただいたご意見を反映させながら、基本的な流域治水の考え方を取りまとめているところであります。この、流域治水という滋賀の新しい治水の考え方について理解を深めていただくために、本日、このシンポジウムを開催させていただきました。

本日は、遠くから、群馬大学の片田敏孝教授に「地域防災力を高める処方箋」と題しまして、基調講演をお願いいたしております。全国の被災状況などを調査された結果から導き出された地域防災力を高めるための方策をお教えいただき、今後の各地域での取り組みに役立てていただけたらと考えているところであります。

その後、「水害に強い地域づくりを目指して - それぞれの役割を考える」と題しまして、京都大学防災研究所、多々納裕一教授をコーディネーターにパネルディスカッションを予定しております。先生には、住民会議のアドバイザーをお願いしているところであります。パネリストとしましては、住民サイドということで、住民会議の取りまとめにご尽力いただきました座長の大橋正光様、行政サイドからは行政部会委員でもあります高月町の田中久二副

町長様と嘉田知事が加わりまして、「どのような洪水に対しても命を失わない、そして壊滅的な被害を防ぐ」こうした水害に強い地域づくりのために、住民、市町、県がどのように協働していけばいいのか、という議論を深めていただく予定です。どうか、このシンポジウムを契機といたしまして、水害への関心を高めていただき、今後の水害に備える取り組みに対しまして、ご理解とご協力をいただければと思

っております。

最後になりましたが、大変お忙しい中にも関わらず、こころよく講師等を引き受けていただきました、片田先生、多々納先生をはじめ、大橋様、田中様に厚く御礼を申し上げ、本日のシンポジウムが有意義なものとなりますよう改めてお願いをいたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうかよろしくお願いたします。